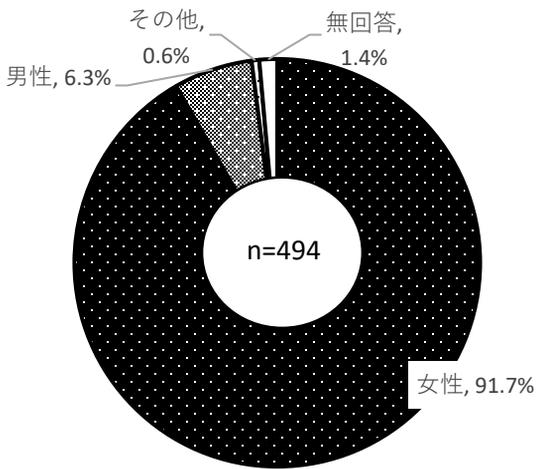


第Ⅳ章 指定保育士養成校学生実態調査

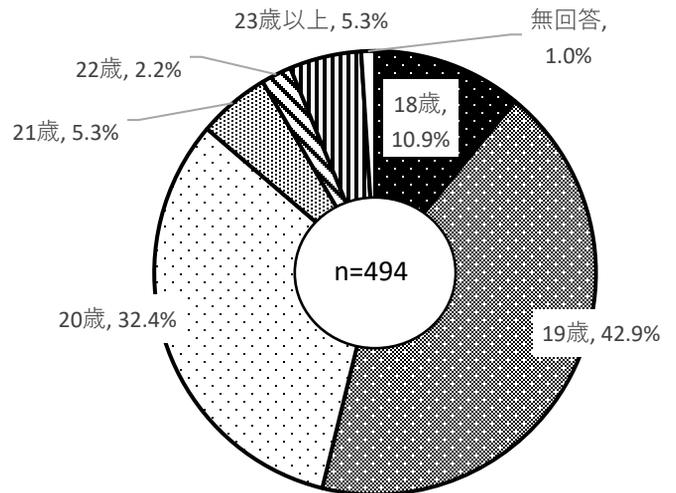
(1) 回答者の属性

Q1 あなたご自身についてお答えください。

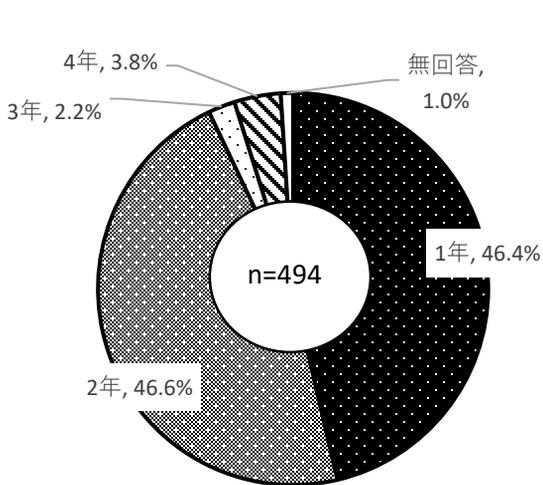
①性別



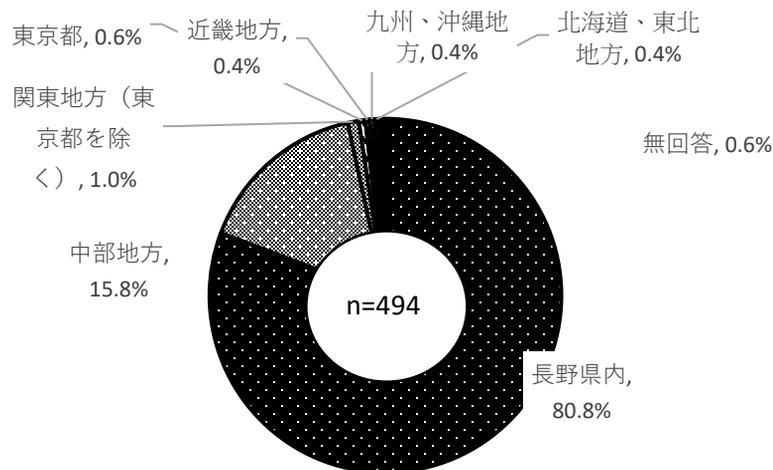
②年齢



③学年



④出身地

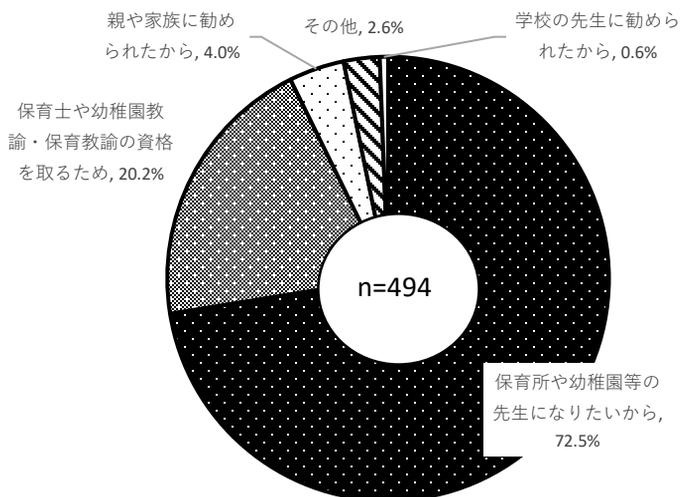


(2) 保育者を目指す理由等

Q2 保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)養成施設に通っている理由は何ですか。

「保育所や幼稚園等の先生になりたいから」が72.5%と最も多く、次いで「保育士や幼稚園教諭・保育教諭の資格を取るため」(20.2%)となっている。

養成施設に通っている動機



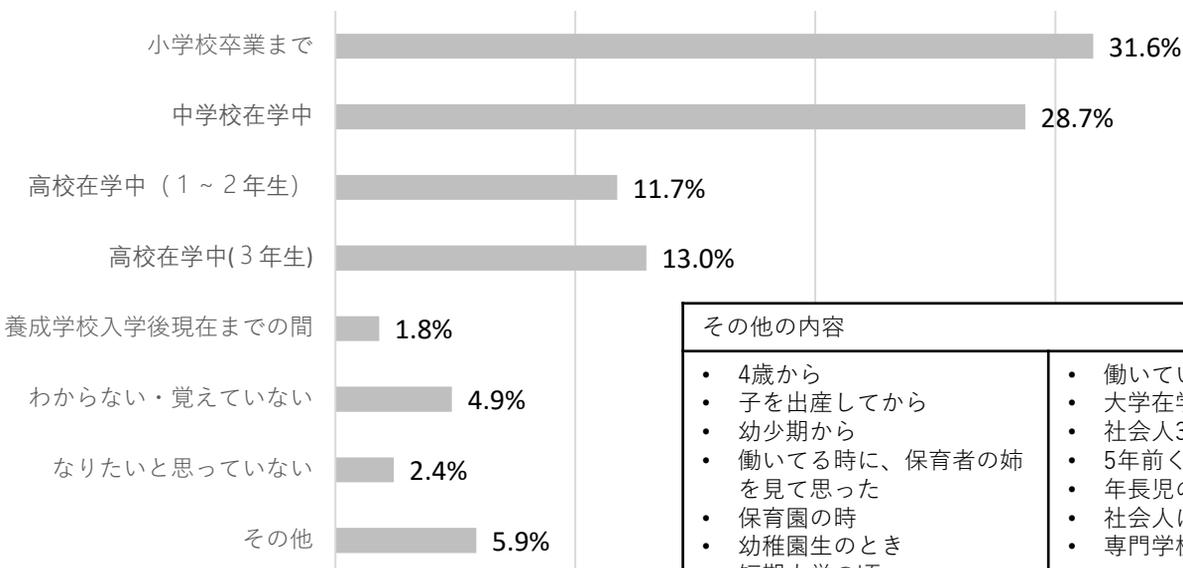
その他の内容

- ・ 施設で働きたいから
- ・ 資格取って施設で働きたいから
- ・ 将来子どもと関わる仕事をしてみたいと思ったから
- ・ 子どもが好きだから
- ・ 児童養護施設職員になりたかった
- ・ この学校しか道が無かったから
- ・ 自分の知る就労している女性のほとんどが保育士だったから
- ・ 子どもと関わる仕事がしたかったから
- ・ 障害者の支援施設で働きたかったから
- ・ 施設職員になりたいため
- ・ 介護福祉士と迷っている状態でどちらの資格も取れる学校に入りたいと思ったから
- ・ 習い事の先生に勧められてなんとなく
- ・ 幼児教育に興味を持っているため

Q3 保育士になりたいと思った時期はいつですか。

「小学校卒業まで」が31.6%と最も多く、次いで「中学校在学中」が28.7%となっている。

保育士になりたいと思った時期



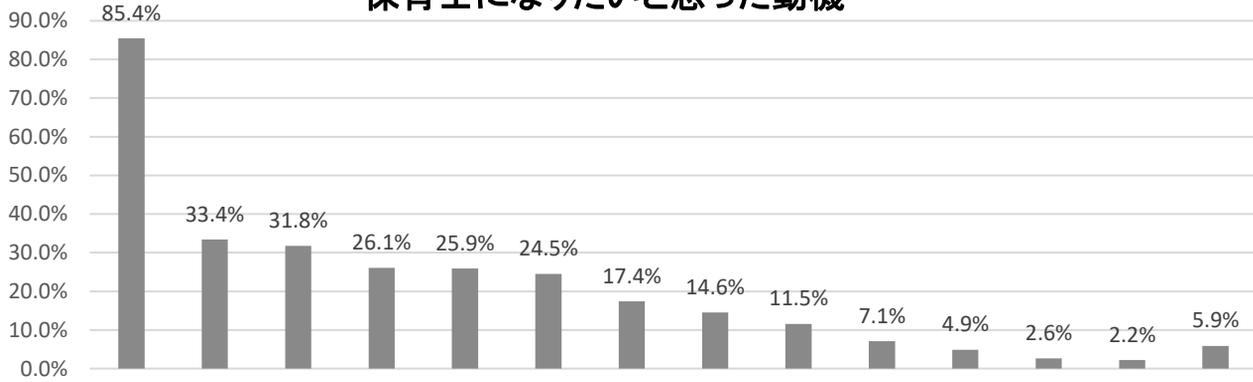
その他の内容

- ・ 4歳から
- ・ 子を出産してから
- ・ 幼少期から
- ・ 働いてる時に、保育者の姉を見て思った
- ・ 保育園の時
- ・ 幼稚園生のとき
- ・ 短期大学の頃
- ・ 働いている時
- ・ 大学在学中
- ・ 社会人3年目
- ・ 5年前くらい
- ・ 年長児の時
- ・ 社会人になってから
- ・ 専門学校の時

Q4 保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)になりたいと思った主な動機は何ですか。(複数回答可)

保育者になりたい動機は、「子どもが好きだから」が85.4%で最も多く、次いで、「憧れの職業だから」(33.4%)となっている。

保育士になりたいと思った動機



動機	割合	動機	割合	動機	割合	動機	割合	動機	割合	動機	割合	動機	割合	動機	割合	動機	割合										
子どもが好きだから	85.4%	憧れの職業だから	33.4%	保育者に興味があるから	31.8%	自分の性格に合っているから	26.1%	得意なことを活かせると思ったから	25.9%	人のため、社会貢献できる職業だから	24.5%	子育てに役立つと思ったから	17.4%	身近に保育者がいるから	14.6%	親や家族に勧められたから	11.5%	就職に困らないと思ったから	7.1%	中学・高校で勧められたから	4.9%	保育者になるつもりはない	2.6%	身近な資格だから	2.2%	その他	5.9%
全体	494																										

その他の内容

- 得意を活かせるから
- 当時の先生に憧れを抱いた
- 幼稚園の時の先生に憧れて
- 好きな先生に憧れたのと保護者を支えたい
- 好きな先生がいたから
- 自分の保育園の頃の担任の先生に憧れて、そうなりたと思ったから
- ボランティアで子どもと関わっていたから
- 音楽が続けられるから
- 実習を重ねてやってみようと思った
- 将来働くなら自分の好きなことをしたいと思ったから
- 保護者の方のサポートや子どもの成長に携わりたと思ったため
- 担任の先生が好きだったから

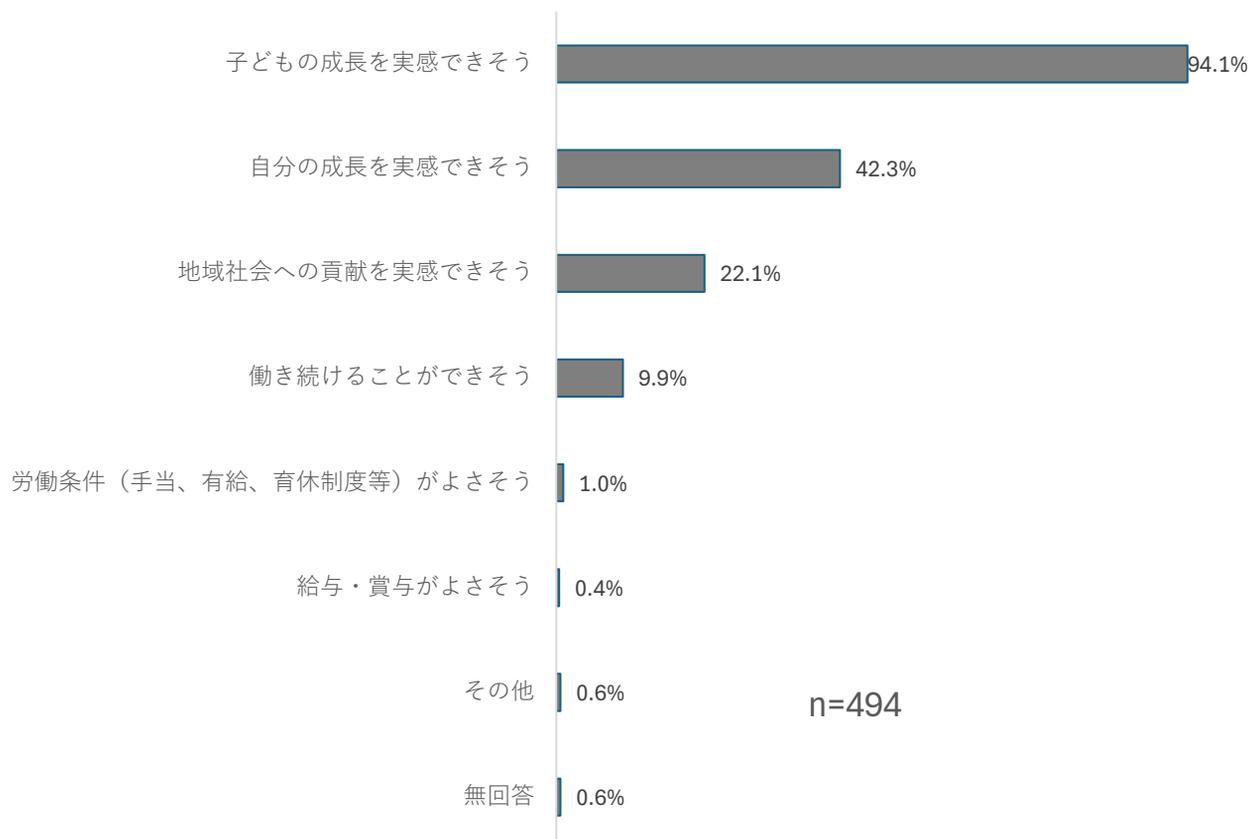
- 児童心理に興味がある
- 職場体験に行き、いいなと思ったから
- よくわからない
- 憧れの先生のようになりたいたいから
- 出身園の先生みたいな大人になりたと思ったから
- 他にやってみたい職業があり、それに役立ちそうだった
- 体験できないことを体験して欲しいと思ったから
- 職場体験で保育園に行ったから
- なりた職業が思いつかなかったから自分の中で保育園児だった頃の先生の存在が大きかったから
- 職業体験
- とりあえず資格が欲しかった

(3) 保育者の魅力

Q5 保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)について、どのようなことに魅力を感じますか。(複数回答可)

保育者について魅力を感じることは「子供の成長を実感できそう」が94.1%で最も多く、次いで「自分の成長を実感できそう」(42.3%)となっている。

魅力



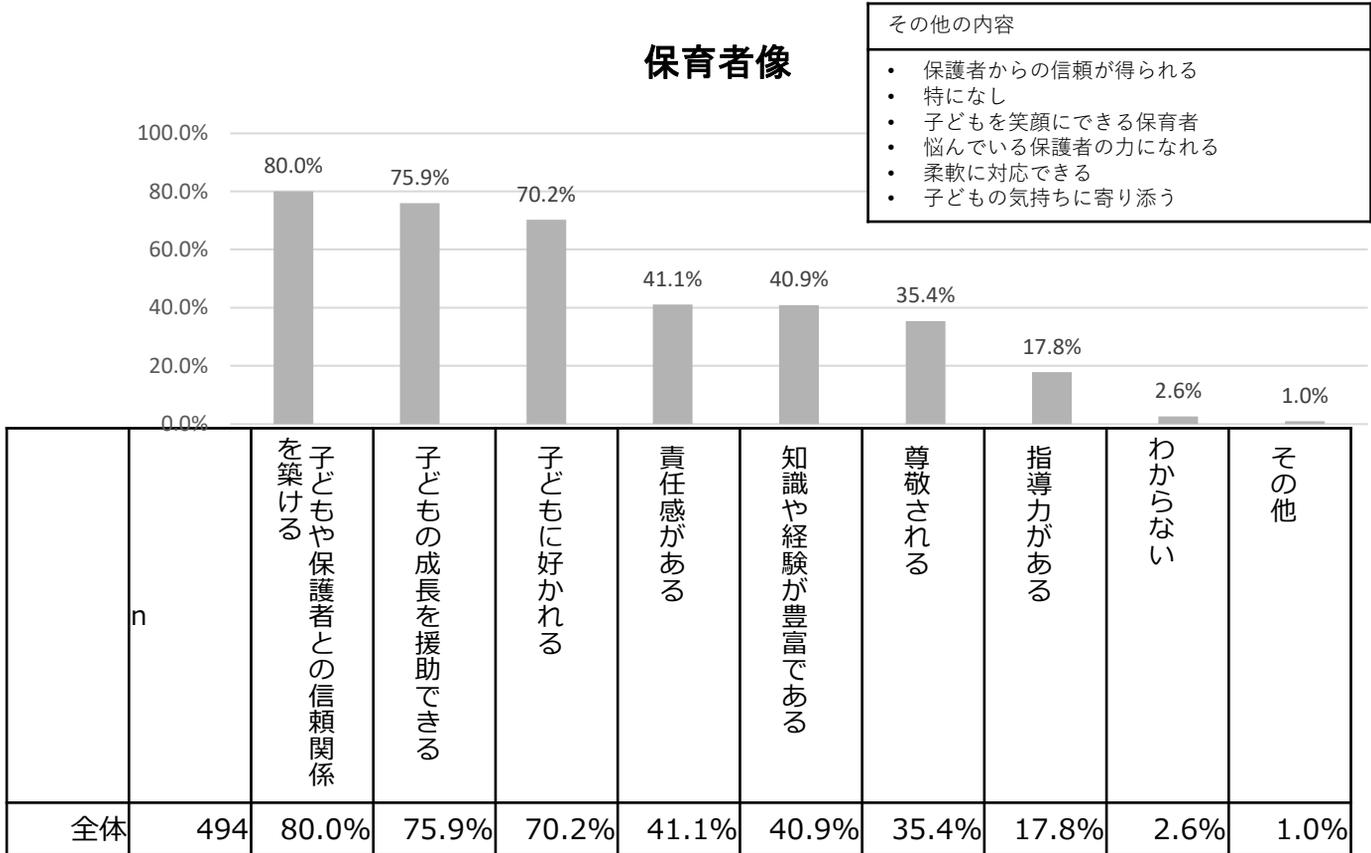
その他の内容

- 子どもたちと一緒に様々な遊びを楽しめる
- 保育者になるつもりはない
- 資格を取るので働いてみる

(4) 目指す保育者像

Q6 将来どのような保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)になりたいですか。(複数回答可)

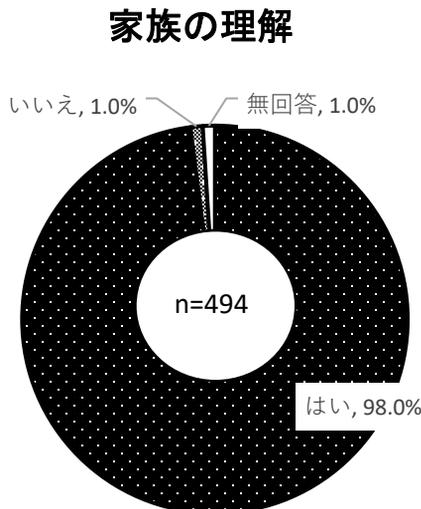
将来どのような保育者になりたいか聞いたところ「子どもや保護者との信頼関係を築ける」が80.0%で最も多く、次いで「子どもの成長を援助できる」(75.9%)となっている。



(5) 家族の理解

Q7 保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)になることを家族は応援してくれていますか。

「はい(応援してくれています)」が98.0%となっている。

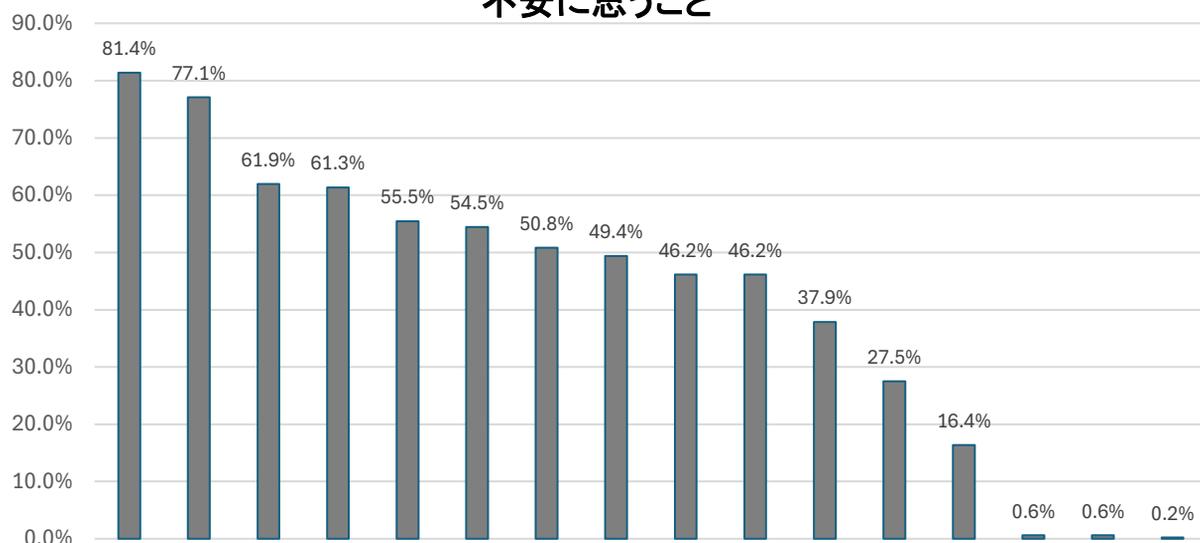


(6) 不安に思うこと

Q8 保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)になるにあたり、不安に思うことはありますか。(複数回答可)

保育士になるにあたり不安に思うことは「保護者対応」が81.4%で最も多く、次いで「職場の人間関係」(77.1%)となっている。

不安に思うこと



	n	保護者対応	職場の人間関係	クラス運営	命を預かること	配慮が必要な子どもへの対応	ピアノ、製作等	自分の保育の知識・技術	給与や労働条件等、待遇面	プライベートとの両立	時間外勤務	子どもとの関わり	自分の体力・意欲	教育・研修が受けられるか	特にない	その他	無回答
全体	494	81.4%	77.1%	61.9%	61.3%	55.5%	54.5%	50.8%	49.4%	46.2%	46.2%	37.9%	27.5%	16.4%	0.6%	0.6%	0.2%

その他の内容

- ・ 将来本当に保育士になるか悩んでる
- ・ 給与
- ・ 休みは取れるのか

(7) 実習について

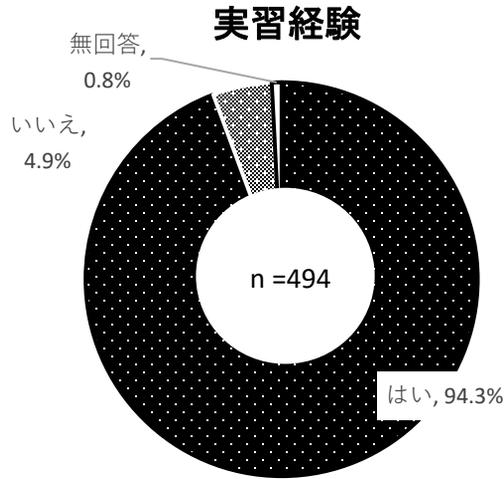
Q9 あなたは実習に行ったことがありますか。

Q9-1 Q9で「1 はい」と回答された方におうかがいします。

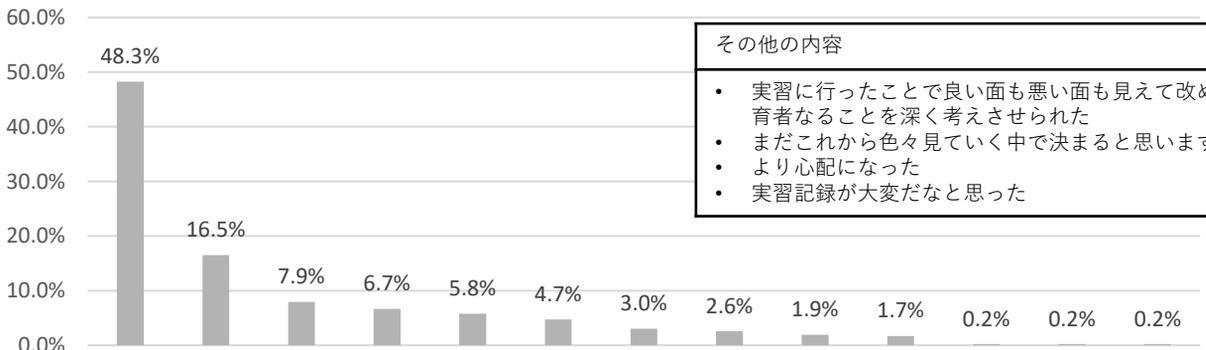
実習の前後で変化したことはありますか。(複数回答可)

実習経験がある人は全体の94.3%となっている。

実習前後の気持ちの変化は、「保育者になりたい気持ちが高まった」が48.3%で最も多く、次いで「保育者になりたい気持ちが低くなった」(16.5%)となっている。



実習の前後の変化



その他の内容

- 実習に行ったことで良い面も悪い面も見えて改めて保育者なることを深く考えさせられた
- まだこれから色々見ていく中で決まると思います
- より心配になった
- 実習記録が大変だなと思った

	n	保育者になりたい気持ちが高まった	保育者になりたい気持ちが低くなった	子どもを好きな気持ちが強くなった	自分に向いていない仕事だと思った	保育者の仕事へのイメージが悪くなった	特に変化はない	仕事を続けていけないと思った	保育者の仕事へのイメージが悪くなった	学習する意欲が高まった	自分に向いている仕事だと思った	仕事を続けていけそうだと思った	子どもを好きな気持ちが弱くなった	その他
全体	466	48.3%	16.5%	7.9%	6.7%	5.8%	4.7%	3.0%	2.6%	1.9%	1.7%	0.2%	0.2%	0.2%

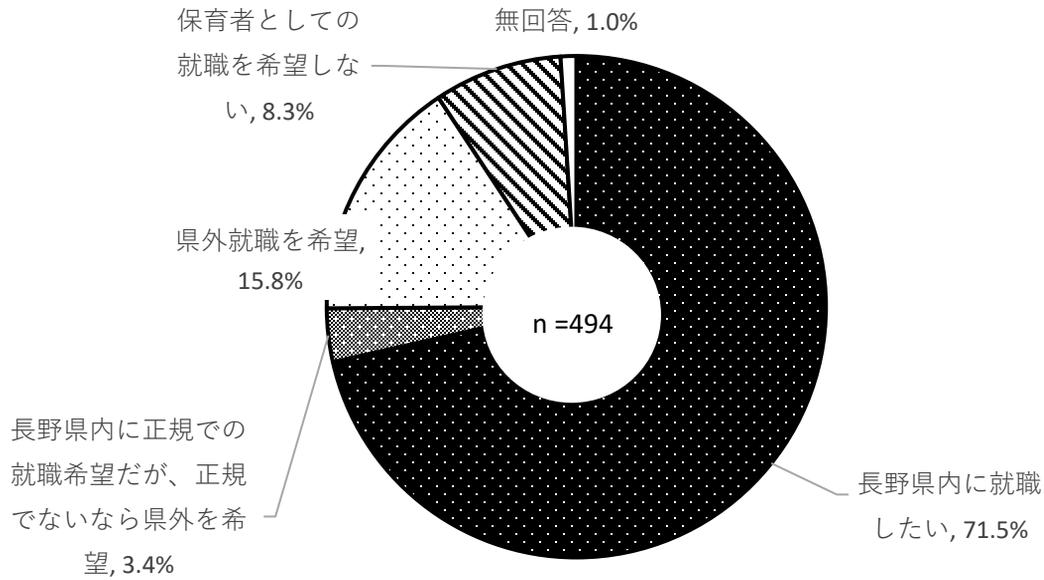
(8) 県内での就職希望

Q10 長野県内で保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)としての就職を希望しますか

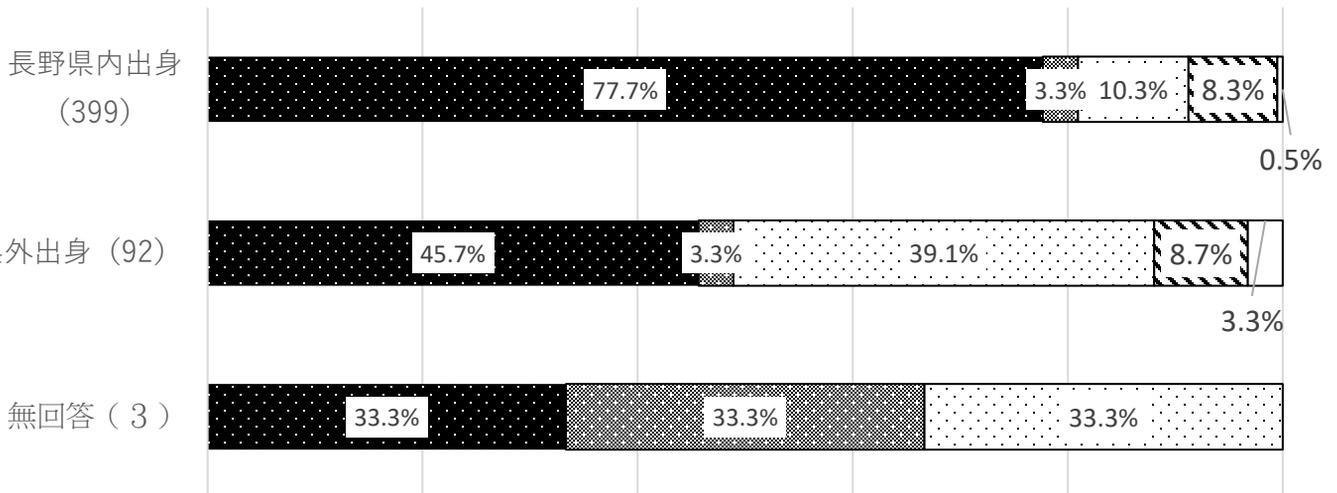
学生のうち、「長野県内に就職したい」は71.5%となっている。

出身地別にみると、県内出身者で「長野県内に就職したい」は77.7%、県外出身者で「長野県内に就職したい」は45.7%となっている。

就職希望



就職希望(出身地別)



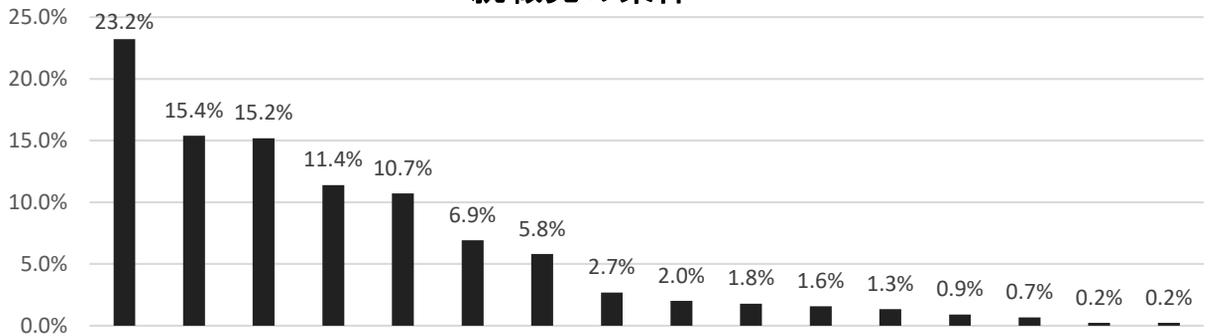
- 長野県内に就職したい
- ▨ 長野県内に正規での就職希望だが、正規でないなら県外を希望
- 県外就職を希望
- ▩ 保育者としての就職を希望しない
- 無回答

Q10-1 Q10 で「1 長野県内に就職したい」「2 長野県内に正規でなら就職したい」「3 県外就職を希望」と回答された方におうかがいします。

就職先を決める際の条件について選択肢の中から選び、最も優先する番号を記入してください。

就職先を選ぶ際に重要視することは「職場の人間関係」が23.2%で最も多く、次いで「やりがい」(15.4%)となっている。

就職先の条件



	n	職場の人間関係	やりがい	勤務地 (自宅から近い等)	保育理念への共感	給与が高いこと	福利厚生 の充実度	休暇が多い・とりやすい	無回答	勤務時間・交代制の融通がきく	保育所や法人の評判	その他	保育所等の施設や設備充実度 (新しさ等)	寮や家賃補助制度の有無	職員の数	研修制度の充実度	昇格制度 (キャリアアップ)
全体	448	23.2%	15.4%	15.2%	11.4%	10.7%	6.9%	5.8%	2.7%	2.0%	1.8%	1.6%	1.3%	0.9%	0.7%	0.2%	0.2%

その他の内容

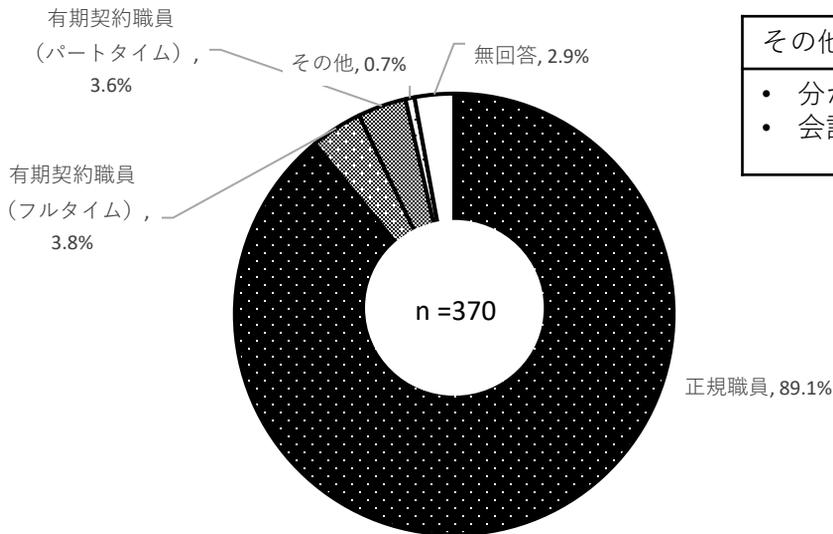
- ・ 県外で経験してみたい
- ・ 地元で働きたい
- ・ 奨学金
- ・ 受かるかどうか
- ・ 長野県保育士奨学金返済のため
- ・ 県の奨学金の援助をもらっているため
- ・ 所属しているソフトボールチームが長野県にあるから

Q10-2 Q10で「1 長野県内に就職したい」「2 長野県内に正規でなら就職したい」「3 県外就職を希望」と回答された方におうかがいします。

就職にあたってどのような雇用形態を希望しますか。(1つ選択)

就職にあたっての雇用形態の希望としては「正規職員」が89.1%と最も多い。

希望雇用形態



その他の内容

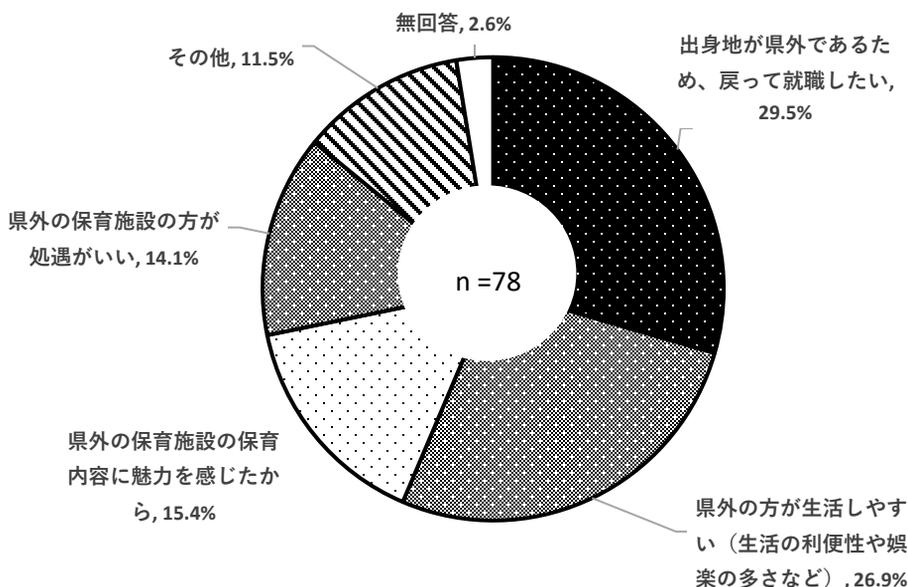
- 分からない
- 会計任用職員

Q10-3 Q10で「3 県外就職を希望」と回答された方におうかがいします。

県外就職を希望する理由について選択肢の中から選び、最も優先する番号を記入してください。

県外就職希望の理由としては、「出身地が県外であるため」が29.5%と最も多い。

県外就職希望理由



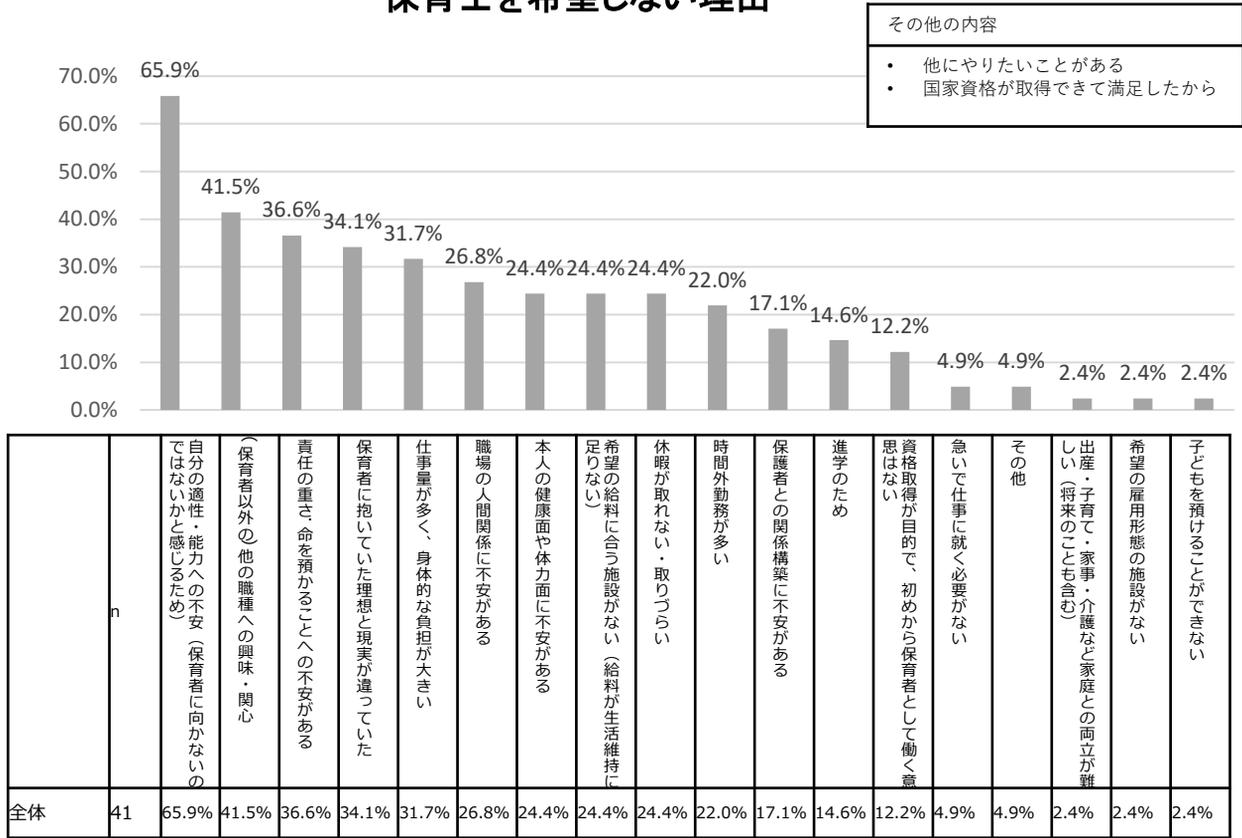
その他の内容

- 一人暮らしをしたい
- 付き合ってる人が居るため
- 生まれ、育ち、保育をまなんだ場所が長野県で他の環境に魅力を感じた
- 経験してみたい
- 県外にある、自分の好きな場所の近くで
- 働きたいから
- 県内から出たいから
- 県外にずっといたから
- 県外で就職したいと思ったから
- いろんな場所に行きたいから

Q10-4 Q10で「4 保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)としての就職を希望しない」と回答された方におうかがいします。希望しない理由は何ですか。(複数回答可)

自分の適性・能力への不安(保育者に向かないのではないかと感じるため) (65.9%)が最も多く、次いで「(保育者以外の)他の職種への興味・関心」(41.5%)となっている。

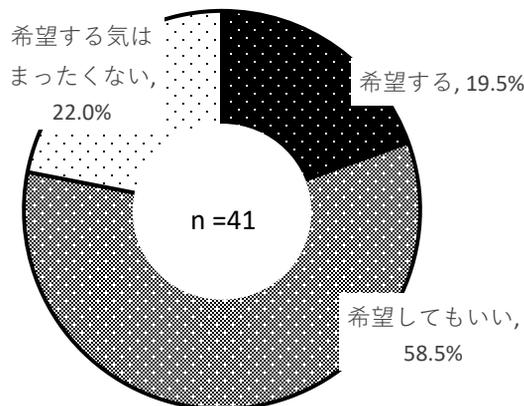
保育士を希望しない理由



Q10-5 Q10-4の理由が解消された場合には、保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)としての就職を希望しますか。

「希望する」が19.5%、「希望してもいい」が58.5%で合わせて78.0%となっている。

希望しない理由が解消された場合の保育士就職意向

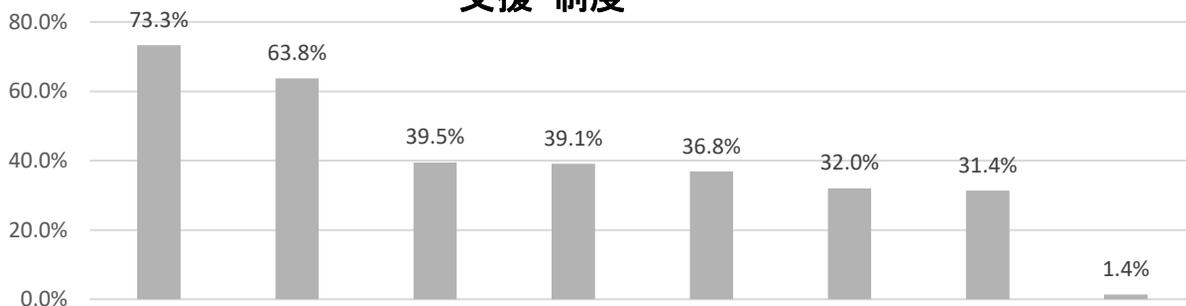


(9) 保育者確保のための支援や制度について

Q11 どのような支援や制度があれば、保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)を目指す学生が増えると思いますか。
(複数回答可)

「保育者の処遇(給与・賃金)」の向上が73.3%と最も多く、次いで、「保育者の労働環境(休日増、超勤の削減等)の向上」(63.8%)となっている。

支援・制度



	n	保育者の処遇(給与・賃金)の向上	保育者の労働環境(休日増、超勤の削減等)の向上	報道等によって広がったマイナスイメージの改善	進学のための奨学金制度の充実	職場体験など、キャリア教育の充実	保育園・幼稚園等の現場からの情報発信・PR	保育士養成校からの情報発信・PR	その他
全体	494	73.3%	63.8%	39.5%	39.1%	36.8%	32.0%	31.4%	1.4%

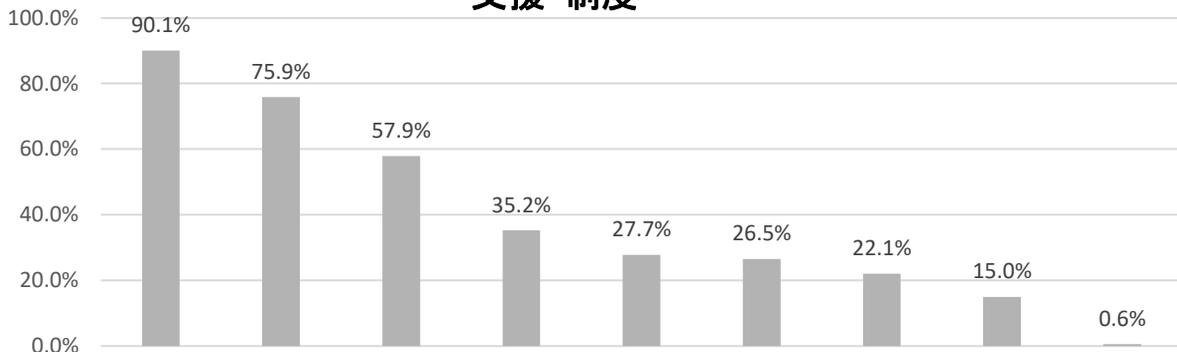
その他

- 就業中の者が受けられる相談窓口の設置
- 地域の保育所等の情報を集約・発信する窓口の設置
- 保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)に関する法令等の最新情報を発信する窓口の設置
- 子どもと関わる楽しさや面白さ
- 実習内容をゆるくした方がいい、どの保育園や幼稚園行っても同じ実習内容がいいと思う
- 日誌の書く量を減らしてもう少し実務と同じようにすること。
- 保育者とは遊んでいるだけの仕事では無いことを社会全体に認識してもらう
- 育の楽しさ、子どもの素敵さ
- 子どもと関わる場を増やす
- ほんとお金と休みがないイメージ(今も)
- 保育者になるための指導方法の改善

Q12 社会全体で保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)が安定的に確保されるためには、どのような支援や制度があるとよいと思いますか。(複数回答可)

「保育者の処遇(給与・賃金)」の向上が90.1%と最も多く、次いで、「保育者の労働環境(休日増、超勤の削減等)の向上」(75.9%)となっている。

支援・制度



	n	保育者の処遇(給与・賃金)の向上	保育者の労働環境(休日増、超勤の削減等)の向上	ライフスタイル・ライフサイクルに合わせた制度の充実(産休・育休、長期休暇)	男性の保育者の増加	現場を離れ、ブランクができてしまったときの復職研修	保育者に関する就職・復職の相談窓口の設置	研修など、保育者としてスキルアップ、最新の保育について学ぶ場の充実	「保育者のしごと」のPR	その他
全体	494	90.1%	75.9%	57.9%	35.2%	27.7%	26.5%	22.1%	15.0%	0.6%

その他

- 就業中の者が受けられる相談窓口の設置
- 地域の保育所等の情報を集約・発信する窓口の設置
- 就職・復職前研修の実施
- 労働環境
- とにかく仕事量と給与が見合っていない。現場で先輩保育士から新人保育士に対するイジメや嫌がらせ、お局、仕事でプレッシャーや圧を園長やベテラン枠が新人保育者にかけるようなことが多い。

(10) 保育者として働く上で重要だと思うこと

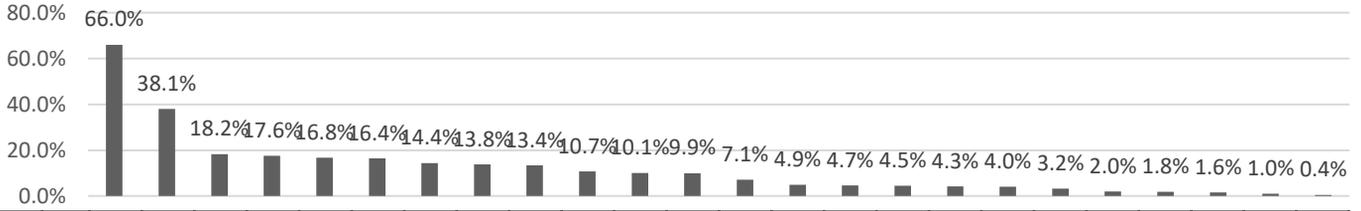
Q13 保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)として働くためには、何が重要だと思いますか。

下記の選択肢の中から特に重要だと思うことを3つ選び、最も重要だと思うものの番号を記入してください。

(3つ選択)

「子どもへの愛情」が66.0%と最も多く、次いで、「職場の人間関係」(38.1%)となっている。

働く上で重要だと思うこと



	n	子どもへの愛情	職場の人間関係	余裕のある人員	仕事に対するやりがい	保護者との人間関係	生計の見通しが立つ賃金	福利厚生	プライベートとの両立	保育に関する知識	健康・体力	相談できる相手	仕事の量	保護者との関係	子育て中の職員への配慮	忍耐	上司の理解	家族の協力	保育の理念・方針	業務の効率化	適性・能力	教育・研修の体制	職場への通勤のしやすさ	パソコン等電子機器の操作技術	キャリアについての展望
全体	494	66.0%	38.1%	18.2%	17.6%	16.8%	16.4%	14.4%	13.8%	13.4%	10.7%	10.1%	9.9%	7.1%	4.9%	4.7%	4.5%	4.3%	4.0%	3.2%	2.0%	1.8%	1.6%	1.0%	0.4%